

# 令和5年度 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議



日 時:令和5年11月14日 14:00~  
会 場:江南区役所201会議室

- 1 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議の設置について
  - (1) 会議設置の趣旨について
  - (2) 会議の進め方について
  - (3) 設置方針(案)と座長の選出について
- 2 昨年の道路除雪に関する振り返りと今年の除雪計画について
  - (1) 昨冬の振り返り
  - (2) 今年の除雪計画
- 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について
  - (1) 検証会議での提言について
  - (2) 新潟市の対応状況について

(写真:いずれも新潟市中央区R4.12.19 夕方に撮影)

## (1) 会議の設置主旨について

### 新潟市除雪体制等検証会議(R3～R4)の3つの提言

#### (1) 除排雪の効率化

- ①早期道路交通の確保 ②地域ぐるみの除雪体制の構築 ③国・県との連携強化

#### (2) 市民広報の積極的な展開

- ①大雪は災害であることへの理解・浸透 ②大雪時の行動変容を促す ③除雪体制の市民周知

#### (3) PDCAサイクルの構築

社会情勢や大雪災害発生状況の変化にも対応し、常に、予算や人員等の制約条件を踏まえた最適な除雪体制とするため、「除排雪の効率化」および「市民広報の積極的な展開」に着目し、**総合的な検証を継続すること。**

### ◇会議の目的

・新潟市では、新潟市除雪体制等検証会議での提言を踏まえて、毎年の道路除雪について、『除排雪の効率化』や『市民広報の積極的な展開』に着目した総合的な検証を継続している。

・本会議では、**新潟市が実施している毎年の道路除雪に関する検証と、それを踏まえて策定した道路除雪計画について、外部の有識者に、広く意見を求め相互共有することで、持続可能な除雪体制への改善につなげていくことを目的とする。**

### ◇構成員（案）

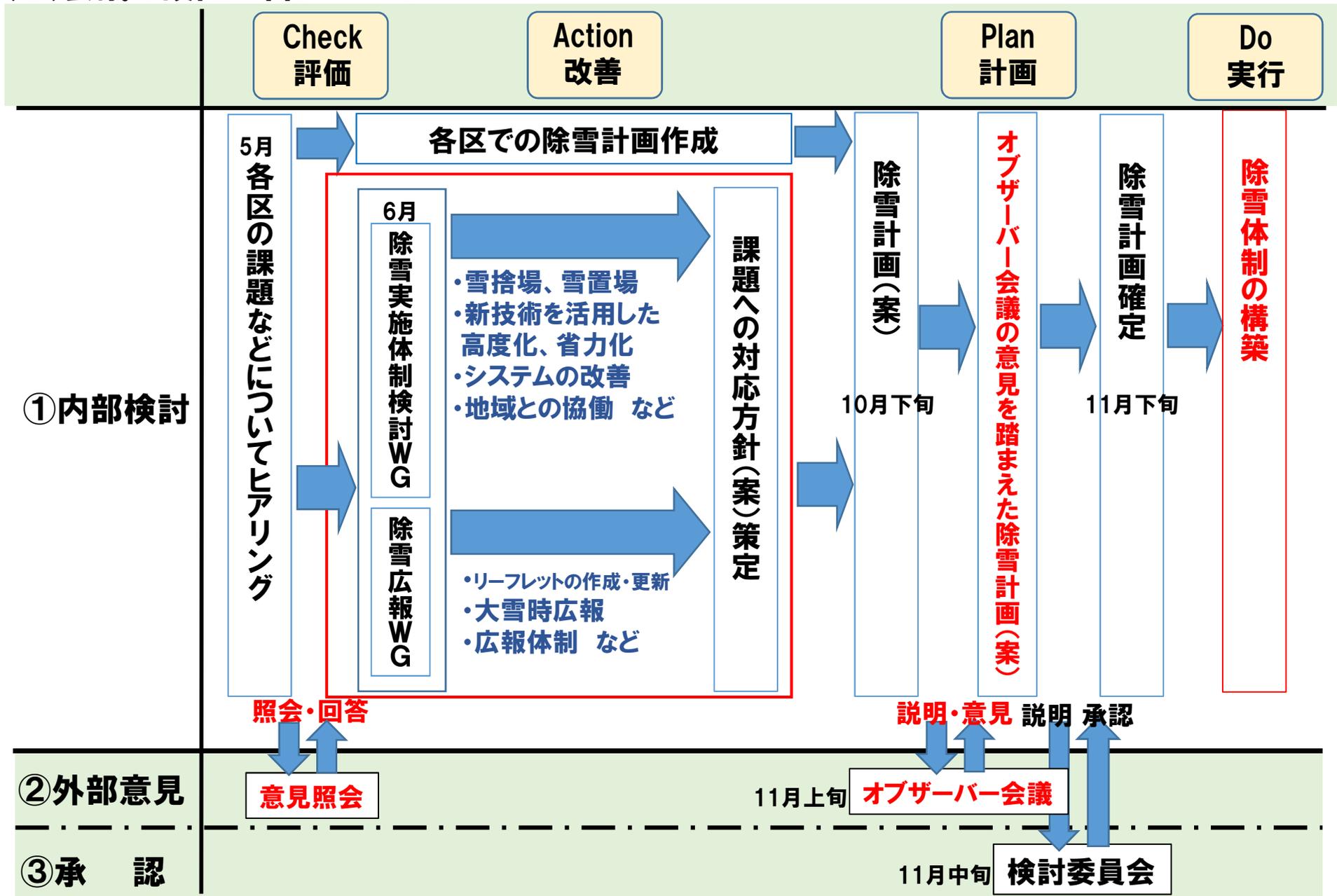
- ・国立研究開発法人 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター
- ・(一社)新潟市建設業協会
- ・(一社)新潟市道路保全協会
- ・新潟商工会議所
- ・新潟県トラック協会
- ・新潟交通株式会社
- ・新潟交通観光バス株式会社

### ◇任 期

令和5年11月14日～令和8年3月31日 ※開催日からとする。

# 1 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議の設置について

## (1) 会議の設置主旨について



# 1 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議の設置について

3/18

## (2) 会議の進め方について

### ○オブザーバー会議のスケジュール

予 定	内 容
◇令和5年秋 第1回オブザーバー会議 (除雪体制 12/1~3/31)	・会議の進め方について ・検証会議の提言について振り返り ・前年の道路除雪に関する検証と、それを踏まえて策定した道路除雪計画について意見照会
○令和6年春 オブザーバー意見照会 (内部検討・除雪計画策定)	・令和5年度除雪対応についての意見照会(書面) (事務局でとりまとめて構成員に共有)
◇令和6年秋 第2回オブザーバー会議 (除雪体制 12/1~3/31)	・前年の道路除雪に関する検証と、それを踏まえて策定した道路除雪計画について意見照会
○令和7年春 オブザーバー意見照会 (内部検討・除雪計画策定)	・令和6年度除雪対応についての意見照会(書面) (事務局でとりまとめて構成員に共有)
◇令和7年秋 第3回オブザーバー会議 (除雪体制 12/1~3/31)	・前年の道路除雪に関する検証と、それを踏まえて策定した道路除雪計画について意見照会 ・令和8年度以降の進め方について

## (2) 会議の進め方について

### ○第1回オブザーバー会議（11/14）

- ・事務局から以下について説明
  - (1) 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議の設置について
    - ① 会議設置の主旨 ② 進め方 ③ 設置方針(案)と座長の選出
  - (2) 昨年の道路除雪に関する振り返りと今年の除雪計画
    - ① 昨年の振り返り ② 今年の除雪計画
  - (3) 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応
    - ① 検証会議での提言について ② 新潟市の対応状況

### ○オブザーバー意見の提出（11/21） **会議後1週間程度を目途**

- ・後日、会議で事務局から示された新潟市の取組みについて構成員ごとに意見を提出。**（アンケート形式を想定）**

### ○オブザーバー意見のとりまとめ（11/28） **11月中の公表目標**

- ・事務局でオブザーバー意見の概要版を作成し、提出されたアンケートと併せて市HPで公表する。**（アンケートの記載者は非公表）**

### ○令和5年度除雪に対するオブザーバー意見（令和6年春）

- ・令和5年度の除雪対応について意見照会**（書面を予定）**

## (3)設置方針(案)と座長の選出について

- ・設置方針(案)について (別途配布)
- ・座長の選出について

### 【設置方針(案)】

#### 5 座 長

**オブザーバー会議には座長を置き、構成員の互選により選出する。**

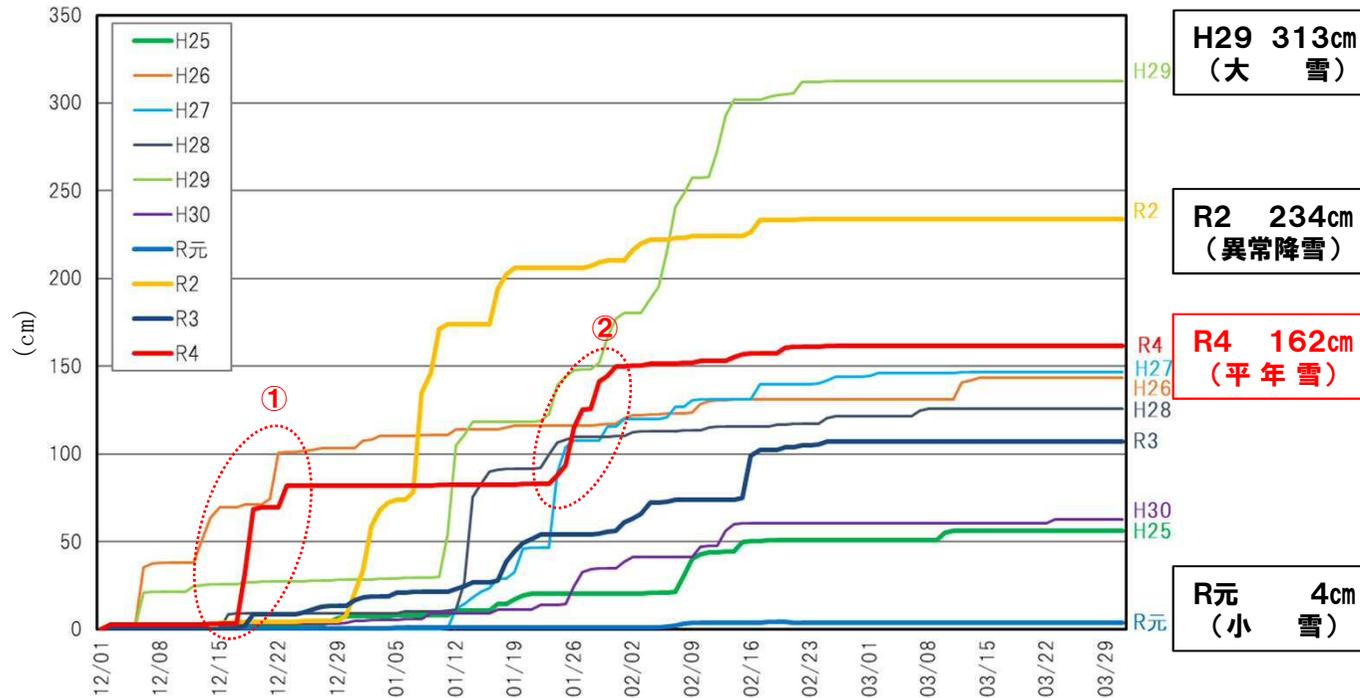
座長は、会議の進行を行う。

座長が出席できないときは、あらかじめ座長が指名する構成員がその職務を代行する

## 2 昨年の道路除雪に関する振り返りと今年の除雪計画について

### (1) 昨冬の振り返り

#### ◇ 年度別累計降雪量の推移(市内8区の平均累計降雪量)



・年間降雪量は162cm  
 ・そのほとんどが2度の寒波による異常降雪によるもの  
 ⇒気候変動に伴う降り方の極端化が明確に

①12/18~12/23  
 市内8区平均83cm  
 北区105cm  
 東区105cm  
 ⇒異常降雪時対応

②1/24~1/31  
 市内8区平均66cm  
 江南区122cm  
 秋葉区95cm  
 ⇒10年に1度の寒波

各年度の平均累計降雪量

	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
累計降雪量	cm	56	143	147	126	313	63	4	234	107	162

各区の累計降雪量

	単位	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	市平均	備考
R4年度	cm	207	125	172	231	192	124	122	119	162	①
R3年度	cm	196	78	76	115	157	100	44	89	107	②
R3比①/②	%	105.6%	160.3%	226.3%	200.9%	122.3%	124.0%	277.3%	133.7%	151.1%	①÷②

# 2 昨年の道路除雪に関する振り返りと今年の除雪計画について

## (1) 昨冬の振り返り

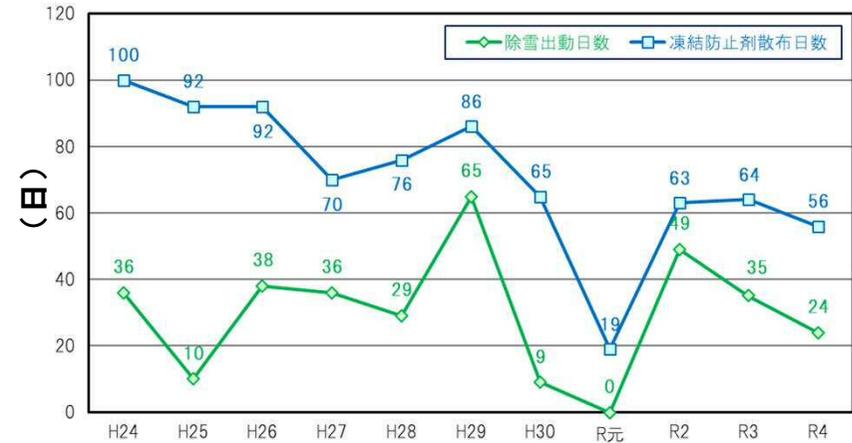
### ◇ 氷点下記録日数の推移(過去10年)



	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
2°C以下の日数	日	79	89	69	73	90	79	52	75	80	66
氷点下日数	日	45	32	29	24	52	22	14	41	47	34

※ 気象庁新潟観測所(中央区)データによる。

### ◇ 除雪出動日数と凍結防止剤散布日数の推移



	単位	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
除雪出動日数	日	10	38	36	29	65	9	0	49	35	24
凍結防止剤散布日数	日	92	92	70	76	86	65	19	63	64	56

※ 市内1箇所でも出動・散布があった日の合計日数。

### ◇ 除雪費(過年度との比較)



#### 除雪費の内訳

	R3	R4
固定費	20億円	20億円
散布	6億円	6億円
排雪	1億円	14億円
歩道	0億円	2億円
車道	8億円	25億円
計	35億円	67億円

#### 除雪出動日数

R3	35回
⇒R4	24回
凍結防止剤散布日数	
R3	64回
⇒R4	56回

- ・年間の降雪量が2回の寒波に集中し、それ以外の期間で降雪が少なかったため、除雪の出動回数は例年に比べて少なかった。
- ・しかし、2回の寒波でそれぞれ短期集中的な降雪となったため、雪をかき分けるスペースを確保するため、市内全域で排雪作業を実施した。

## 2 昨年の道路除雪に関する振り返りと今年の除雪計画について

8/18

### (1)今年度の除雪体制について

(別途配布資料にて説明)

# 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

## (1) 検証会議の振り返りについて

H29年度の大雪を踏まえた様々な取り組み

- ① 除雪車運行管理システムの導入
- ② 新たな雪捨て場の確保
- ③ PRパンフレットの作成
- ④ 凍結防止剤散布の見直し
- ⑤ 市内部の除雪応援体制の確立

R3年1月市全域で短期間に集中的な大雪となり、10日間で150cmの降雪を記録。除雪作業が追い付かず、交通渋滞の発生や公共交通の運休、物流の停滞など、市民生活や経済活動に大きな影響を受けた。

新潟市除雪体制等検証会議を設置し、道路除雪に関する課題や、対応について議論

### 【新潟市の除雪に関する課題】

- ・気候変動の影響から、数年に1度の大雪が発生
- ・大雪の年と小雪の年とで、降雪量に極端な差があるため、大雪に特化した体制の構築が困難
- ・市民広報において、降雪前に備えておくことや、降雪時の市の対応状況など、伝えきれていない。
- ・大雪は災害であることの意識向上を促す必要

提言書(最終とりまとめ) 令和4年7月

### 1 除排雪の効率化

#### (1) 早期道路交通の確保

異常降雪時に排雪を行う際は、排雪基準に基づき、より効率的な除排雪作業を実施すること。また、地域の協力を得ながら除雪路線近隣に多くの雪置き場を確保することや、雪捨て場の渋滞を解消するためにも、多くの雪捨て場を確保すること。

#### (2) 地域ぐるみの除雪体制の構築

新潟市は、除排雪を効率的に実施し、市民は、出控えなどの生活の工夫を行い、事業者は在宅勤務や時差出勤など事業展開の工夫を行う等、新潟市と地域が一体となった除雪体制を構築すること。

#### (3) 国・県との連携強化

異常降雪時において、除排雪機械の応援や人員の応援などを迅速に体制構築できるように相互の連携強化を求める。

### 2 市民広報の積極的な展開

#### (1) 大雪は災害であることへの理解・浸透

大雪時には、新潟市の除雪体制では道路交通を確保するには長い時間がかかってしまう。この間は、交通渋滞や公共交通の運休等が予想されることを広報すること。あわせて、大雪に関しては災害意識が低いと思われるため、さまざまな手法を通じて市民の災害意識の向上を促すこと。

#### (2) 大雪時の行動変容を促す

テレワークの推進や休業・休校など外出自粛に繋げる市民広報を行い、行動変容を促すこと。

そのためには、道路の堆雪状況や降雪・積雪条件、除雪能力、社会条件等から大雪に対する対応力のレベルを設定し、そのレベルにあった除排雪や市民への行動変容が可能となるよう試行・検証を実施すること。

#### (3) 除雪体制の市民周知

新潟市の除雪体制について、パンフレットやリーフレットにより十分周知するよう努めること。大雪時には、市民の不安解消に向け、各種メディアを活用し継続的な除雪状況などの情報発信を行うこと。

### 3 PDCAサイクルの構築

今後、人口減少や予算減少、地球温暖化による大雪の局地化・激甚化等が想定される一方で、ICTやAIなどを活用した作業の効率化・省力化や、情報の高度化に関する新技術の活用が期待されている。

これらの社会情勢や大雪災害発生状況の変化にも対応し、常に、予算や人員等の制約条件を踏まえた最適な除雪体制とするため、「除排雪の効率化」および「市民広報の積極的な展開」に着目し、総合的な検証を継続すること。

### 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

10/18

#### (2)新潟市の対応状況について(除排雪作業の効率化)

項目	目標	取組み	R3	R4	R5	備考
<b>1 除排雪作業の効率化</b>						
<b>(1)早期道路交通の確保</b>						
効率的な作業の実施	機械の受持ち延長の適正化	毎年の稼働実績を活用し見直す	見直し (27台)	見直し (22台)	見直し (11台)	今後も継続する。 R3~R5 60台の増台
	排雪作業の効率化	排雪基準を策定し、基準・優先順位に明確にする	基準策定	基準に基づく作業 →		
	雪捨て場の確保	毎年の排雪作業から増設箇所を抽出する。	増設 (19箇所)	増設 (1箇所)	増設 (4箇所)	今後も継続する。 H29 23箇所⇒133箇所
バス交通の確保	バス交通支障箇所の速やかな解消	バス事業者と連携し対応マニュアルを作成	—	策定	改訂	毎年、連携会議を開催し、相互に検証を行う。
新技術の活用	除雪作業の更なる効率化・高度化・省力化	新技術の活用について、試行・検証を実施	—	試行着手	試行継続	今後も継続する。
<b>(2)地域ぐるみの除雪体制の構築</b>						
地域が一体となった除雪体制	地域で実施する除雪作業に対する補助制度の拡充	アンケート等でニーズを把握し、精度見直しを検討	—	一部拡充	一部拡充	今後も継続する。
<b>(3)国・県との連携強化</b>						
国・県・関係団体との応援体制強化	関係機関との応援体制や除雪協力体制の拡充	関係機関と応援体制について確認	実施	—	—	

## (2)新潟市の対応状況について(除排雪作業の効率化)

### ①効率的な除排雪作業の実施

#### 機械の受持ち延長の適正化

- ・ 除雪車運行管理システムに蓄積されているデータを活用し、異常降雪等を除いた標準的な降雪に対して、除雪作業の稼働時間が長時間となっている路線を抽出。
- ・ 回送距離や作業時間等を最適化することで、経済的に有利となる路線について、機械の増台を実施。

機械の増台状況(R3～) (単位:台)

	R3	R4	R5	計
国県道	3	-1	0	2
市道	24	23	11	58
計	27	22	11	60

上記台数には路線再編や新規供用に伴う増減も含む

#### 今後の取組み

- ・ 引き続き、システムに蓄積されたデータを活用しながら、受け持ち距離の適正化を進めていく
- ・ 今後は増台効果の検証にも取り組みを進める

#### 雪捨て場の確保

- ・ 排雪作業の効率化や雪捨て場での車両の滞留を防ぐため、H30年度から雪捨て場の増設を実施

雪捨て場・雪置場の増設状況(R3～)

(単位:箇所)

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	備考
雪捨て場	18	20	20	24	27	26	26	
雪置場	5	51	57	85	101	103	107	4箇所増
合計	23	71	77	109	128	129	133	

近年は、雪捨て場の増設が頭打ちとなっているが、今年度は、去年の排雪支障箇所新たに確保

#### 今後の取組み

- ・ 毎年の除雪対応において、課題箇所の抽出を行い、雪捨て場の確保に引き続き取り組む

## (2)新潟市の対応状況について(除排雪作業の効率化)

### ②新たな取り組み(新技術の活用について)

冬期間の道路状況について、随時の客観的な状況把握ができていない。

(原因)状況把握の手段は、パトロールがメイン。

⇒①状況判断はパトロール員の主観によるところが大きい。

⇒客観的な作業指示や情報発信が困難

②パトロール～結果の取りまとめに大雪のときほど時間がかかる。

⇒作業指示にかかるオペレーションが非効率

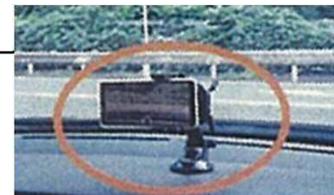
③パトロール体制の確保が必要

新技術を活用した業務の効率化・高度化・省力化に関する取り組み(試行)に着手

#### R4試行

北 区	中 央 区
<p>【移動観測】 AIスマホ路面判定システム 10台 道路パト車(直営)2台 除雪パト車(委託)3台 凍結防止剤散布車5台</p> <p>【定点観測】 積雪深計 3台 簡易積雪深計4台</p> <p>自主出動する除雪協力業者の車両にも配備</p>	<p>【移動観測】 AIスマホ路面判定システム 2台 道路パト車(直営)2台</p>

試行結果(区担当者へ聞き取り)  
状況把握に係る時間の短縮効果大きい。  
画像データに基づき具体的な作業指示ができた。



AIスマホ路面判定システム

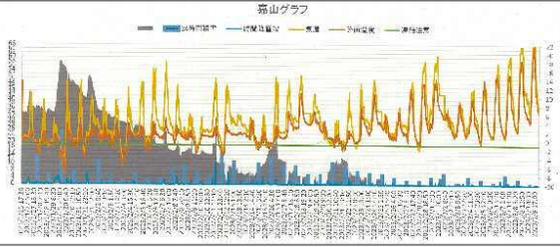


積雪深計

### 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

#### (2)新潟市の対応状況について(除排雪作業の効率化)

#### ②新たな取り組み(新技術の活用について)

移動観測	定点観測	
①AIスマホ路面判定システム	②簡易積雪深計(カメラ付)	③積雪深計(カメラ付)
		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パト車両に搭載したスマートホンで路面を撮影。(2秒に1枚)</li> <li>・画像データは随時クラウド上にアップされ、AIで路面状況を判定。</li> <li>・判定結果は、マッピングされ画像データと併せて共有される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪量、降雪量、気温、画像</li> <li>・バッテリーで稼働させるため、比較的容易に設置可能。</li> <li>・観測頻度は1回/1h程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪量、降雪量、気温、画像など</li> <li>・観測頻度は任意に設定可能。</li> <li>・別途電源が必要</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像と軌跡がリアルタイムに共有されるため、時間短縮効果大きい。</li> <li>・協力業者の車に配備することでパトの省力化も図れる。</li> <li>・AI判定の精度向上が課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精度が高くないため、公表用のデータとしては活用できないが、カメラと併せることで、除雪業務の補助として活用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精度が高く、統計データとして活用可能</li> </ul>

#### 【今後の取組み】

・当面は現行業務の補助として新技術を活用しながら、除雪作業や情報発信の高度化・効率化・省力化に向けた利活用について検討を実施していく。

### 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

#### (2)新潟市の対応状況について(市民広報の積極的な展開)

項目	目標	取組み	R3	R4	R5	備考
<b>2 市民広報の積極的な推進</b>						
(1)大雪は災害であることへの理解浸透						
市民に災害意識の向上	降雪期前)大雪は災害であることへの理解促進	各種媒体を活用し広報活動を実施(パンフレット、ポスター、HP、テレビなど)	実施			継続して取り組む
	降雪期)日頃から、大雪への備えや、最新情報を確認することを促す	・HPに雪の特集ページ ・降雪が予想される場合は、SNSで情報発信	一部 試行	試行		継続して取り組む
(2)大雪時の行動変容を促す						
市民の行動変容を促す	指標レベルを設定し、そのレベルに応じた情報発信を行う。	・指標レベルの設定や、それに応じた広報について 試行・検証を実施	一部 試行	試行		継続して取り組む
(3)除雪体制の市民周知						
	除雪体制の市民周知	新潟市の除雪体制について、パンフレットにより周知する。	実施			継続して取り組む
	市民の不安解消	・除雪の進捗状況についてHP上で公開	一部 実施	実施		継続して取り組む

新しいパンフレット作成

# 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

## (2)新潟市の対応状況について(市民広報の積極的な展開)

### 新潟市除雪体制等検証会議 (R3~R4)

#### 提言の3本柱

- 1 除排雪の効率化
- 2 市民広報の積極的な展開
- 3 PDCAサイクルの構築



#### 大雪は災害であることへの理解・浸透

- ・大雪時は、**道路交通確保に時間がかかることや、交通渋滞・公共交通の運休等が発生することを広報すること**
- ・**さまざまな手法を通じて市民の災害意識の向上を促すこと**

#### 大雪時の行動変容を促す

- ・**外出自粛に繋げる市民広報を行い、行動変容を促すこと**
- ・大雪に対する**対応力のレベル**にあった除排雪や市民への行動変容が可能となるよう**試行・検証**を実施すること。

#### 除雪体制の市民周知

- ・新潟市の除雪体制について、**パンフレットやリーフレットにより十分周知**するよう努めること。
- ・大雪時には、市民の不安解消に向け、各種メディアを活用し**継続的な除雪状況などの情報発信**を行うこと。

#### 降雪期前

#### 広報内容

- ・大雪は災害であることへの理解・浸透
- ・除雪体制の市民周知

除雪方法、協力をお願い、お役立ち情報など

⇒各種媒体による広報活動

パンフレットやポスター掲示、市報、テレビ、HP

⇒イベント開催などによる意識啓発

Jリーグ開催にあわせたイベント、ショッピングモール

○リーフレット



新潟ゆきみちガイド

○イベント開催状況



大雪は災害

#### 平常時

#### 広報内容

- ・日頃から大雪への備え
- ・最新情報の確認

⇒HP内に情報を集約した特集ページを設置

掲載情報は、気象情報、除雪状況、公共交通、ライフライン、ゴミ収集、高齢者支援など

○除雪状況の公開ページ(新潟市HP)



#### 降雪期

#### 広報内容

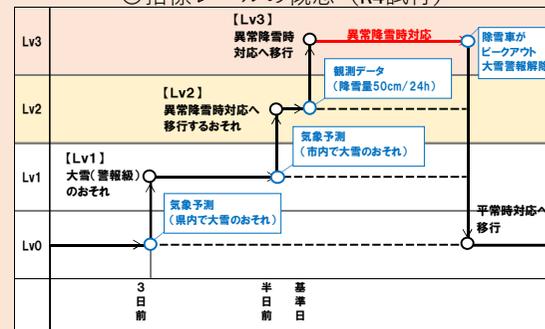
- ・気象予測や降雪状況に応じたレベル毎に広報を実施

平常時の内容に加えて「不要不急の外出抑制」や「異常降雪時対応への移行と市民への協力をお願い」など

⇒SNSやHPで情報発信

市公式ライン、防災メール、Twitterなど

○指標レベルの概念 (R4試行)



### 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

#### (2)新潟市の対応状況について(市民広報の積極的な展開)

##### ①新しいパンフレット(にいがた雪の日辞典)の作成・配布

- ・これまでは、「にいがたゆきみちガイド」や「大雪は災害」により広報を実施。内容は、主に道路除雪への理解や協力をお願いを呼び掛けるもの
- ・上記内容に加えて、検証会議以降の新たな取り組みについて、周知する必要性



#### 【作成におけるポイント】

- ① 従来の広報内容(除雪に関すること)を自助・共助・公助の視点で整理
- ② プッシュ型の広報を推進するため、公式LINEなどSNSへの登録を促す内容を新たに追加
- ③ ゴミ収集やライフライン(水道、電線など)お役立ち情報を充実

- ・11月中旬から、各自治会を通じて、各家庭へ配布
- ・市役所の窓口等へ設置するほか、ホームページで公開
- ・市内各所へポスターを掲示

内容の追加や更新を行いながら、毎年更新していく予定

#### ○従来のパンフレット



(左) にいがた「ゆきみち」ガイド  
(右) 大雪は災害

#### ○新しいパンフレット



④新潟市  
にいがた雪の日辞典

### 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

#### (2)新潟市の対応状況について(市民広報の積極的な展開)

#### ②大雪時の行動変容を促すための広報について

##### 検証会議の提言(概要)

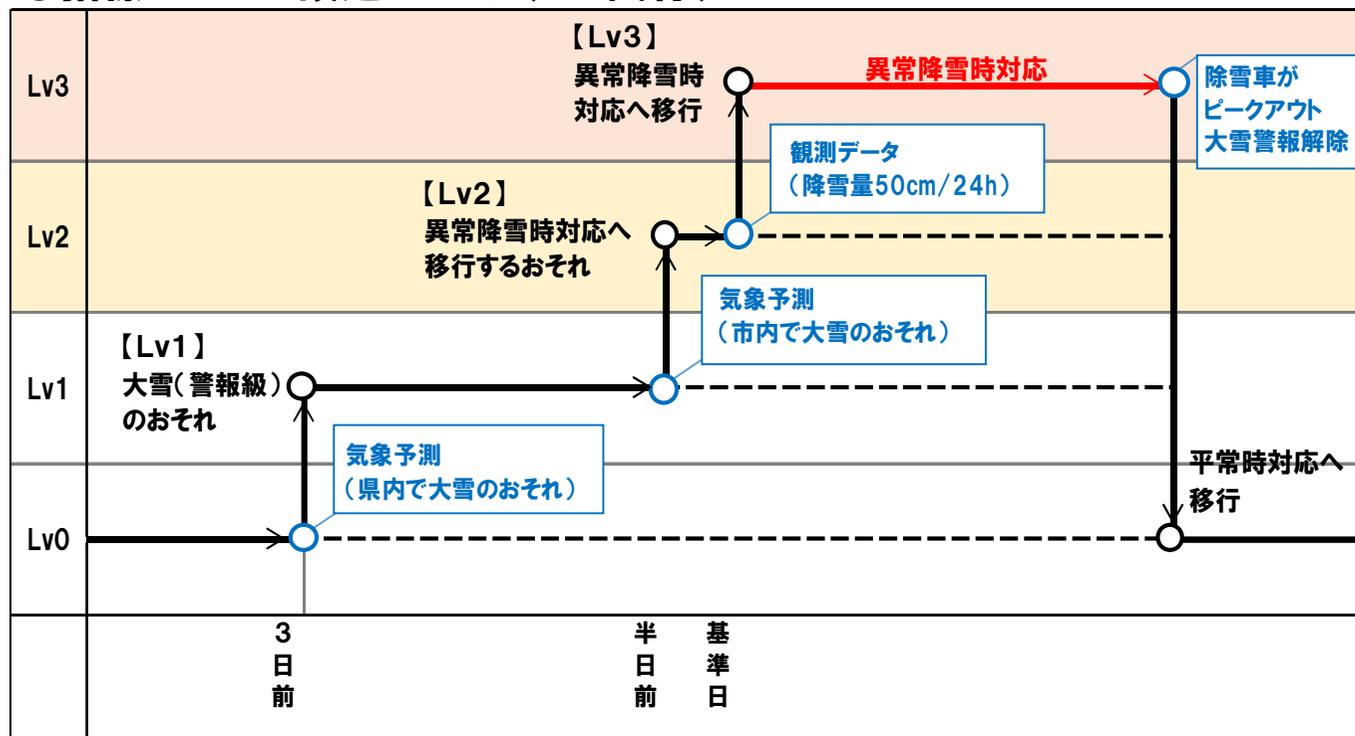
- ・外出自粛に繋げる市民広報を行い、行動変容を促すこと
- ・大雪に対する対応力のレベルにあった除排雪や市民への行動変容が可能となるよう試行・検証を実施すること。

##### 【R4試行の内容】

- ・指標の設定(Lv0~Lv3)
- ・レベル毎にSNSで行う広報のひな形を作成

HP, 市公式LINE, 防災メール, X(旧Twitter)で情報を発信

#### ○指標レベルの設定イメージ(R4試行)



・大雪となる数日前に  
国から発出される大雪に関する情報にあわせてタイムラインを作成

・Lv1とLv2への移行  
は気象予測による

・Lv3への移行は、除  
雪体制が異常降雪時  
対応に移行するタイミ  
ングとした

※ 異常降雪時対応:50cm以上/24h以上の降雪時に幹線道路を優先的に確保する体制に移行

### 3 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた対応について

#### (2)新潟市の対応状況について(市民広報積極的な展開)

#### 〇レベル毎に行う広報のひな形(R4試行)

大雪情報LV1	大雪情報LV2	大雪情報LV3
<p>【防災-大雪情報】土木総務課 〇県内で大雪の可能性</p>	<p>【防災-大雪情報】土木総務課 〇市内で大雪の可能性</p>	<p>【防災-大雪情報】土木総務課 〇災害級の大雪が発生</p>
<p>17(金)~18(土)にかけて、新潟県内に強力な寒波が到来する見込みです。</p>	<p>17(金)~18(土)にかけて、新潟市内に強力な寒波が到来する見込みです。 降雪の状況に応じて、幹線道路を優先して確保する除雪体制に移行する可能性があります。</p>	<p>17日(金)からの大雪に伴い、幹線道路を優先的に除雪する体制に移行します。 生活道路の除雪は、幹線道路の除雪が完了した後、順次実施します。</p>
<p>—市民の皆様へお願い— ◆大雪への備えをお願いします リンク ◆最新の情報を確認ください 《<a href="#">気象情報</a>》 リンク 《<a href="#">公共交通の運行状況</a>》 リンク</p>	<p>—市民の皆様へお願い— ▲リモートワークや時差出勤を検討ください ▲最新の情報を確認ください 《<a href="#">気象情報</a>》 リンク 《<a href="#">公共交通の運行状況</a>》 リンク</p>	<p>—市民の皆様へお願い— !不要不急の外出をお控えください !最新の情報を確認ください 《<a href="#">気象情報</a>》 リンク 《<a href="#">公共交通の運行状況</a>》 リンク 《<a href="#">除雪、ごみ収集、区バス等</a>》</p>
<p>—新潟地方气象台発表— (12月16日16時03分)  〇24時間の降雪見込み (17日18時~18日18時) 下越(平地): 20~40センチ 下越(山地): 60~80センチ</p>	<p>—新潟地方气象台発表— (12月16日16時03分)  〇24時間の降雪見込み (17日18時~18日18時) 下越(平地): 20~40センチ 下越(山地): 60~80センチ</p>	<p>—降雪の状況(新潟市観測点)— (17日〇時~〇日〇時)  北 区〇〇cm、東 区〇〇cm 中央区〇〇cm、江南区〇〇cm 秋葉区〇〇cm、南 区〇〇cm 西 区〇〇cm、西蒲区〇〇cm</p>
<p>令和4年度の試行では、12月(Lv3)と1月(Lv2)の寒波で広報を実施。 令和5年度も同様の試行を実施し、検証を継続する。</p>		<p>—新潟地方气象台発表— (12月16日16時03分)  〇24時間の降雪見込み (17日18時~18日18時) 下越(平地): 20~40センチ 下越(山地): 60~80センチ</p>